

提案審査書類の審査結果及び審査講評

1 工事名

令和元年度春近発電所大規模改修工事

2 募集要項公表日

令和元年8月7日

3 審査結果

(1) 参加資格確認

参加資格審査書類提出者名	参加資格の有無
シーテック・前田・吉川共同企業体	有
株式会社熊谷組	有
清水・神稲・八千代エンジニアリング共同企業体	有

(2) 評価結果

○審査日：令和2年3月3日

評価項目		シーテック・前田・吉川共同企業体	株式会社熊谷組	清水・神稲・八千代エンジニアリング共同企業体
非価格 審査項目 (400点)	事業全体に関する項目 (175点)	70.8	46.8	113.9
	設計建設業務に関する項目 (225点)	130.9	82.9	158.2
価格審査項目 (100点)		75.1	100.0	86.1
合計点		276.8	229.7	358.2

4 審査講評

審査委員の評価の概要は以下のとおり。

シーテック・前田・吉川共同企業体においては、改修における課題解決策やライフサイクルコスト削減など設計業務に関して十分検討した提案がされています。

株式会社熊谷組においては、事業実施体制やリスク対応策の提案が優れています。特にかんがい用水確保に関して十分検討した提案がされています。

清水・神稲・八千代エンジニアリング共同企業体においては、発電諸元の設定が丁寧に検討されています。工事計画や施工管理方針など全般的に実現性が高い提案がされています。

審査委員会は、公正な審査の上で、評価点の最も高かった清水・神稲・八千代エンジニアリング共同企業体を優先交渉権者として選定しましたが、いずれの者の提案も、十分に期待の持てる内容でした。3者の多大なる努力に対し、深く感謝を申し上げます。

清水・神稲・八千代エンジニアリング共同企業体に対しては、県が示した要求水準はもちろんのこと、提案審査書類及びプレゼンテーション時の質疑応答の内容を、提案価格の中で確実に履行することが求められますが、その上で、次の事項を審査委員会の意見として尊重することを求めます。

○かんがい用水の確実な確保

かんがい事業者と連絡調整するための体制を構築した上で綿密に協議を行いながら、最大限高速ダムからの取水を継続するとともにかんがい用水を確実に確保すること。

○地元要望への対応

関係地域と打合せを行う中で、地元住民の意見を真摯に聞いて対応すること。

○発電所浸水対策の実施

ハザードマップ冠水地域に位置することを重く受け止め、発電所建屋においても一定規模の浸水対策を実施すること。

○A I 新技術は費用対効果の高いものを導入

ライフサイクルにも重きを置き、低コストで実現できる設備とすること。

○取水設備の流木塵芥対策

塵芥の混入は発電所だけでなくかんがい事業者にとっても重要な問題であることから、取水口設備の流木塵芥対策を充実し管理が軽減できる設備とすること。

○防災教育の導入

ハード面だけでなくソフト面のアイデアを盛り込み、時代にあった防災教育がなされる設備を導入すること。